

東海地震に関する地震情報発表等への対応について

名古屋経済大学高蔵高等学校・中学校

東海地震に関する地震情報に対する対応は、小中学校のほとんど、また高等学校の多くが「予知情報（警戒宣言）の発表」時点からとしています。

しかし、**本校は生徒の通学区域が広いこともあり、生徒のみなさんの安全避難を第一とする観点から、「予知情報（警戒宣言）の発表」よりも一段階前の「注意情報の発表」で対応することとしています。**

東海大地震は、東南海地震と連動して起こることも想定されており、近い将来には必ず起こる災害です。被害を最小限に抑えるために、日頃から地震に対する備えを十分にするとともに、家族でも話し合い、いざというときに困ることがないように、確認や約束をしておいてください。

1 地震防災の対応時点

東海地震「注意情報」が報道された時点で、本校は直ちに全ての教育活動を停止し、地震防災態勢に入ります。

2 東海地震「注意情報」の報道等と避難の原則

東海地震「注意情報」が発表された場合	在宅時	<ul style="list-style-type: none">学校は直ちに防災態勢に入ります。「注意情報」が解除されるまで休校とします。生徒は自宅や避難所にとどまり、登校しないこととします。
	登下校時	<ul style="list-style-type: none">学校は直ちに防災態勢に入ります。「注意情報」が解除されるまで休校とします。交通状況等を確認の上、生徒を速やかに帰宅させます。
	在校時	<ul style="list-style-type: none">学校は直ちにすべての教育活動を停止し、防災態勢に入ります。交通状況等を確認の上、「緊急下校」の措置をとります。「注意情報」が解除されるまで休校とします。
突発的な大地震が発生した場合		<ul style="list-style-type: none">生徒の安全避難を第一とします。安全に下校できる状況が確認できるまで、学校待機とします。安全な下校が可能と判断された時点で、「緊急下校」の措置をとります。

(注) 1 「注意情報」が報道されても、公共交通機関は通常どおり運行されます。

2 生徒のみなさんが帰宅する場合は「緊急下校指導態勢」をとり、職員が学校周辺や交通拠点等で指導し、安全に帰宅できるようにします。

3 帰宅後は、無事に帰宅した旨を学校に連絡してください。学校への連絡方法はNTTの伝言ダイヤルまたはインターネットメールで行ってください。

3 備考

- (1) 東海地震に関する地震情報が報道された場合、**自家用車での出迎えはしない**のが原則です。多くの人が一斉に車を使用すれば、道路は混雑し、防災・救援活動に支障を来すことになるからです。
- (2) 「注意情報」や「予知情報（警戒宣言）」が出された後は、**電話による通話をしない**のがマナーです。緊急通話の妨げになります。
- (3) 「注意情報」や「予知情報（警戒宣言）」が出た場合、あるいは突発的に地震が起こった際に、家族間でどのように連絡を取り合うか、その方法を決めておいてください。自宅近くの避難場所も確認しておいてください。

東海大地震に備えるために

名古屋経済大学高蔵高等学校・中学校

1 東海地震に関する情報が発表されたら、どうするか？

東海地震に関する情報発表には、次のように3段階あります。

危険度大	調査情報	観測データに異常が見られたが、地震の前兆ではないとわかった場合。 観測データに異常が見られたが、地震の前兆とすぐには判断できない場合。
	注意情報	観測データに異常が見られ、地震の前兆である可能性が高まった場合。
	予知情報	地震発生の恐れがあると判断された場合。「警戒宣言」も出されます。

(1) 調査情報が発表されたら → 落ち着いて！ まだ青信号です。

調査情報が発表されても、授業やその他の活動は平常どおり行われます。

校外にいる場合

- ・ いつもどおりの生活を続けてかまいません。ただちに地震につながるという情報ではありませんから、パニックを起こさないようにしましょう。
- ・ ただし、テレビや携帯電話等で最新の情報を得るように努めましょう。

校内にいる場合

- ・ 学校が情報収集しますので、皆さんは先生方の指示に従い、落ち着いて行動してください。

(2) 注意情報が発表されたら → いよいよ黄信号です！

注意情報が発表された場合、授業などの全活動はただちに中止され、学校は防災体制に入ります。
注意情報が解除されるまで、学校は休校します。

注意情報から予知情報に切り替わり、「警戒宣言」が出されるまでには、最も早くても数時間の余裕があります。冷静な判断と落ち着いた行動に心がけてください。

校外にいる場合

- ・ 政府が行う防災に関する呼びかけや、市町村等が定めた防災計画に従って行動してください。
- ・ 交通機関は通常どおり運行しますから、基本的にはまず自宅に帰り、そこで待機してください。
- ・ テレビやラジオ等で最新の情報を得るように努めましょう。
- ・ 電話での通話は、110番と119番以外はしないことが緊急時のマナーです。家族や友人と連絡を取りたくなりますが、その通話が回線をパンクさせ、防災や救援のための重要な通話を妨げてしまうからです（携帯電話は通話もメールも困難な状態になります）。
- ・ 外出している場合でも、家族に車で迎えに来てもらうことはしてはいけません。自家用車が道をふさぎ、緊急車両の妨げになるからです。

校内にいる場合

- ・ 先生方の指示に従い、速やかに帰宅してください。
- ・ 注意情報の発表で多くの人々が一斉に帰宅するため、混雑や混乱が予想されます。帰宅に通常以上の時間がかかります。くれぐれも安全に心がけてください。

(3) 予知情報（警戒宣言（が発表されたら → さあ、赤信号です。

「予知情報」は、現象の変化が急激な場合には、「調査情報」や「注意情報」を飛び越えて発表されることもあります。この場合、授業などの全活動はただちに中止され、学校は防災体制に入ります。「予知情報」が解除され、さらに「注意情報」が解除されるまで、学校は休校します。

校外にいる場合

- ・ 政府が行う防災に関する呼びかけや、市町村等が定めた防災計画に従って行動してください。
- ・ 交通機関は運行を停止します。係員等の指示に従って、広域避難所等へ避難しましょう。
- ・ 自宅や自宅近くにいる場合には、自宅あるいは自宅付近の広域避難所で待機しましょう。緊急時にどこに避難するか、日頃から家族で決めておきましょう。
- ・ テレビやラジオ等で最新の情報を得るように努めましょう。
- ・ 電話での通話は、110番と119番以外はしないことが緊急時のマナーです。
- ・ 外出している場合でも、家族に車で迎えに来てもらうことはしてはいけません。

校内にいる場合

- ・ 「予知情報（警戒宣言）」が解除されるまで、基本的には学校で待機することになります。
- ・ 先生方の指示に従って行動してください。

自分の身は自分で守らなければなりません。

そのためには、大地震が起きる前に、家族とよく話し合い確認しておかなければなりません。

- ・ 帰宅方法はどうか？
- ・ 避難場所はどこにするか？
- ・ 連絡方法はどうか？

「東海大地震があっても、高蔵の教職員・生徒からは一人の被害者も出さない」を合言葉に、日頃からの地震への備えを万全にしましょう。

東海地震に備えるために

名古屋経済大学高蔵高等学校・中学校

〔学校の対応〕

〔どう行動するか〕

予知情報・注意情報が解除されるまで

休校が続きます。

東海地震

予知情報 (警戒宣言)

数時間～数日の間に地震が起こると考えられます。
厳重な警戒を！

- ・ 市町村が定める防災計画に従って行動しましょう
- ・ テレビなどで情報の収集に努め、地震に備えましょう！
- ・ 110番・119番以外、電話をかけてはいけません。
(緊急通話の妨げになります)

注意情報が出たら、すぐ授業は中止です。

注意情報解除まで

休校が続きます。

東海地震

注意情報

観測データによると地震の起きる可能性が出てきました。
今後の情報に十分な注意を！

- ・ 注意情報が発表されたとき
登校前・帰宅後
→自宅にとどまります。
登下校中
→自宅に戻ります。
在校中
→先生の指示により帰宅します。
- ・ テレビなどで情報の収集に努め、地震に備えましょう！
- ・ 110番・119番以外、電話をかけてはいけません。
(緊急通話の妨げになります)

学校は

いつもどおり

行われます。

東海地震

調査情報

観測データに異常がありました。地震につながるかどうかは、まだ不明です。

- ・ 平常の生活でかまいません。
- ・ いつもどおり登校しましょう。
- ・ 休日の部活動では、先生の指示に従って行動しましょう。
- ・ 個人の外出では、遠出を避けましょう。
- ・ テレビなどで情報の収集に努めましょう！

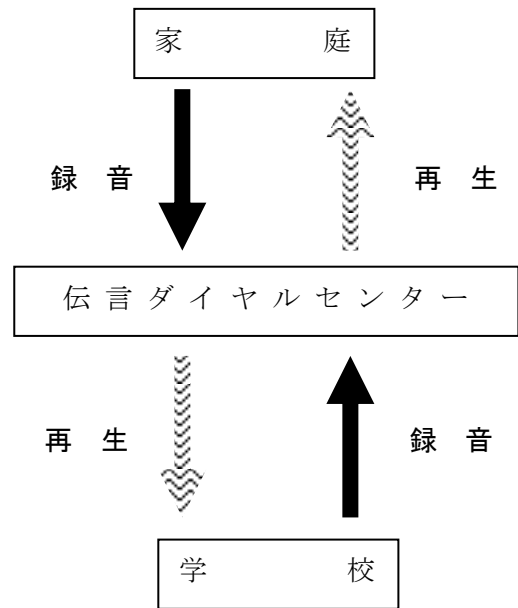
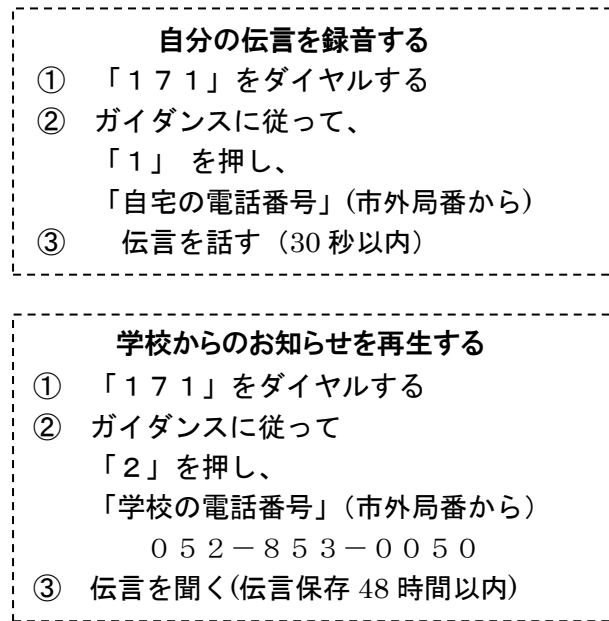
非常時における学校との連絡方法

災害伝言ダイヤルサービス(171)^{いない}

- ・ 非常災害時に利用できる「声の伝言板」です。
- ・ このサービスが始まると、テレビ・ラジオを通じて利用方法等の案内があります。

《利用方法》

「171」をダイヤルし、流れてくるガイダンスに従って操作をします。



(例1) 学校へ、帰宅したことを知らせておこう！

「171」・・・「1」・・・「052-〇〇〇-〇〇〇〇」(自宅の電話番号)
『高〇の△組 〇〇です。午後6時30分、自宅に戻りました』

(例2) 授業はいつ再開されるのかしら？

「171」・・・「2」・・・「052-853-0050」
『本校の生徒に被害はありません。〇月〇日より授業を再開します』

インターネット・メール

パソコンの利用が可能な場合は、インターネット・メールで連絡できます。

学校に安否の連絡をする場合 → e-mail takakura@educet.plala.or.jp

学校からの情報を知る場合 → ホームページ <http://www.takakura-hj.info/>